

医学研究実施のお知らせ

厚木市立病院倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

無症候性脳転移を有するドライバー遺伝子変異陽性非扁平上皮非小細胞細胞肺癌におけるチロシンキナーゼ単独療法と頭部放射線照射併用療法の有効性を比較する後ろ向き研究

【研究の概要】

■研究の目的

症状のない脳転移を有するドライバー遺伝子変異陽性の肺癌患者さんにとって、TKI 療法のみで経過を見るべきか、初期から TKI 療法と放射線療法を併用すべきかは現時点で明らかになっておらず、どちらが脳転移の進行や生存期間を延長させるかを検証します。放射線治療による晩期の脳障害についても調査します。

■研究期間 2022年2月～2026年12月

■対象となる方等

研究機関：多施設共同研究として行います。研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）は島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 奥野峰苗です。

対象となる方：脳転移を有する肺癌と診断されたドライバー遺伝子変異陽性患者さんのうち、2018年8月から2020年12月の間に本研究の協力施設でチロシンキナーゼ阻害薬（TKI）等の内服治療を受けられた方

■研究に利用する試料、情報等

試料：なし

情報：年齢、性別、PS、組織型、遺伝子変異の種類、がん治療歴、放射線治療歴、喫煙歴、TNM分類・病期、転移部位、脳転移の個数などの臨床データをカルテから収集します。

■他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

各施設の研究責任者および研究分担医師等が、研究実施計画書の規定に従いエクセル表に臨床データを入力し、パスワードを設定したセキュリティー対策を行ったUSBに保存し研究代表者に郵送します。情報は本研究の共同研究医療機関と共有します。収集した情報は、匿名化し、島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科に集約し、外部から容易にアクセスできない状態で保管します。

【問い合わせ先（対応時間：9:00～16:00）】

厚木市立病院 呼吸器内科 田村 休応

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。